

飯山市第6次総合計画策定 第2回飯山市基本構想審議会 会議概要

1	会議名	第2回飯山市基本構想審議会
2	日 時	令和4年10月4日（火）15時～16時30分
3	会 場	飯山市役所 4階 全員協議会室
4	委員出席者 （順不同）	稲生委員、村山委員、小林委員、手塚委員、坪井委員、高澤委員、 鷲森委員、西川委員、伊東委員、松永委員、大口委員、吉越委員、 内山委員、今清水委員、岩澤委員、山室委員、出澤委員、丸山委員、 直江委員、滝澤委員、近藤委員、山崎委員、本間委員、上村委員 ※欠席 荻原委員、高野委員
5	事務局出席者	総務部長、事業戦略室長、事業戦略室事業戦略係長、 企画財政課企画調整係長
協 議 事 項 等		
1	開 会	（進行：総務部長） 参加させていただいて、途中で退席される委員さんもいらっしゃる場合もあるので、ご了解をお願いしたい。 資料の確認を事務局からさせていただく。 （事務局） 資料の確認
2	会長あいさつ	（進行：総務部長） （伊東会長） 皆さん、暑い中お集まりいただき感謝申し上げます。10月に入りいよいよ秋本番になってきている。この基本構想審議会は皆さんのご存知の通り、計5回開催される中で、今回が第2回目である。前回で皆さんからいただいたご意見や、事前に第2回目の審議会にあわせて事務局が皆さんから聴取したご意見について説明させていただくなどして、スムーズな審議会の進行になるようにご協力いただきたい。短い時間ではあるが、有意義な会議にさせていただきたいと思うので、よろしくお願いしたい。
3	経路報告	（進行：総務部長） 委員の皆さんからいただいたご意見等を資料1－1に集約している。事務局から説明する。 （事務局） 前回の会議から9月16日まで意見の集約を行った。非常に多くのご意見をいただき感謝申し

上げる。資料１－１にまとめてあるので、審議の中で説明する。

内容はこの後審議の中で説明するということで、よろしく願いしたい。これより審議に移る。審議は伊東会長の進行でお願いする。

４ 審議 (進行：伊東会長、説明：事務局)

(伊東会長)

手元にある次第に従って進めていくので、よろしく願いしたい。

(１) 委員意見への対応策 <資料１－１～１－５>

※資料に基づき事務局説明

(２) 基本構想素案修正について <資料２>

※資料に基づき事務局説明

(伊東会長)

皆さんから多数のご意見をいただき、事務局から説明いただいた。ご意見やご質問等はあるか。また、資料１－１のご質問に対する回答について、ご納得いただけたのかも含めてご発言をお願いしたい。

(委員)

資料２の２３ページの４つ目の項目で、「集落のあり方の検討」と「行政の推進、財政の維持」をまとめてあるが、分けた方が良いと思う。

(事務局)

ご指摘を踏まえて、別々の構成を考える。

(委員)

里山の「さと」は「里」と「郷」のどちらがよいのか。

また、人口の減少のところで、移住者数は飯山市で育った子どもが戻って増加したのか、それとも、新たに飯山市に移住して増加したのか。３０代であれば、進学、結婚して飯山市に戻ってかたかもしれない、という疑問を感じた。

外国人の編入について、実際に外国人は年代問わずに空家等を探して居住し、人口の全体としては増加することにはなるが、今後色んな問題も出てくるのではないかと思う。例えば言葉の問題で、飯山市独自のよい点・悪い点があるかと思う。それぞれの地区の中で、外国人が飯山市での生活に慣れることができるのか、などが挙げられる。例えばごみ捨ての問題、集落のおてんまなどある。一概に人口が増えてよいこととそうでないことがあるという課題を感じる。

（事務局）

里山の「里」という漢字については、アイディア会議のメンバーと協議した中で、本来は「里山」が先に出たので、「里山」として表記している。

また、人口分析で、飯山市の出身者が移住者に含まれているかは分析できていないので、今後分析をさせていただく。

外国人については、委員のおっしゃる課題はあるかと思うが、それぞれの地域に溶け込んでいらっしゃる方も多いと思う。ご意見として承る。

（委員）

外国人の人口推移を9ページへ記載したいという話があったが、必要か。そこまで伸びているわけではない。必要ないと思う。違和感がある。

（事務局）

委員から「現状を見れば、そんなに増加しているようではない」ということであるため、イメージのこともあるので、また検討させていただく。

（伊東会長）

またインバウンドが活発になれば、外国人の人口も増加するかもしれない。

（委員）

13ページの5の課題のところに、再生可能エネルギーについて書かれているが、再生可能エネルギーとは、火力とか水力とかあるが、具体的にどういうことを想定しているのか。

（事務局）

市では、昨年度に環境基本計画をつくり、CO₂の削減目標を定めて取り組んでいる。飯山市で考えられる再生可能エネルギーの創出の方法は、太陽光発電がまずある。ただ、太陽光発電については、冬季に雪が降るということで少し課題があるかと。あと、継続して取り組んでいる小水力発電についても引き続き検討していく。その他に地熱を利用した発電、バイオマスを活用した発電などが考えられるので、それらを含めて広く考えているところである。

（委員）

まちを発展させるためには、外国人も必要だと思う。日本人も含めて移住者はどんな職種、経済活動、発信をしているのか、数でなく具体的な内容が気になる。そういったことが地元の商業や教育、子ども達へどのような影響があるのか気になる。郷創にとって意味のある事だと思う。

（事務局）

基本構想ということで、今後基本計画の具体的な施策を検討していくが、その中で、外国人

の数だけでなく、実際の経済活動などの分析が重要になってくるので、また整理させていただき、資料として分かりやすく提示したい。

(委員)

13 ページの(2)子育て・教育に関して、「改善に向けた支援が必要です。」「切れ目のない支援が必要です。」と2ヶ所記載してあるが、飯山市は他市に負けない、きめ細かな支援が現在なされているかと。これだけを見ると、まだこれから必要、とも読み取れて、現在のところきめ細やかな支援ができていないと受け止められるのかなと思う。明石市の事例もあったが、飯山市は、本当に良い取組をしているのだが、発信力が非常に弱い。一部の関係している人は、これは良い取組であると思っており、私自身も議員さんにもぜひ見に来てください、と。来てママたちの声を聞いてほしくて、議員に声をかけたが、8年で誰も来てくれず、この発信力の無さは何なんだろう、という葛藤がある。

先程の委員の意見で、飯山市とこれまでゆかりの無かった人が来ているのか、飯山市出身者が戻ってきているのか、という質問があったが、実際まるでこれまで関係なかった人が移住してきている。最近、市外から来た人が2ヶ月児を連れて来た。2年前からやっている会は、参加した6人のうち、元々飯山市の方は1人のみで、残りの5人は飯山市への移住者で、新幹線もあるし、子育て環境もいいからと移り住み、参加している。そういったことからもっと発信していくべきかと思う。他市に負けていない飯山市の子育て支援をもっとアピールしていくべきだと思う。ただ、形として活用できていないところもあるので、もっと取り組んでいくべきだと思う。

(事務局)

ご意見として承る。今委員からもあった、非常に飯山市はPRや広報が下手だということは常々言われている。今後研究する。せっかく実施している支援策が広がっていないようでは、市としても問題であると思う。この部分については、アンケートの結果からも記載しており、委員がおっしゃったように、施策のPRが下手だから広がっていないと思うので、今後検討していく。

(委員)

外国人人口の推移のグラフを出す必要はないと思う。海外からの移住を能動的にしかけていくのか、それとも能動的に抑えようとしているのかで、施策として全然違ってくる。この数字をもって、どう何を発信するかがあり、現状見えない中では、記載することはミスリードにつながるのではと感じる。

移住の件については、日本人の人口よりも海外の人口の方が桁違いに多いので、移住がスタートすると、際限なく飲み込まれるなど有り得る。そこまでいけばよいという意見もあるかもしれないが、理論上はおかしな話であるので、市の施策としてどうするか決めていく必要があると思う。

発信については、前任が軽井沢であったが、軽井沢は発信に多くのコストをかけている。発

信することも大切な施策であると思う。施策を行ったから知れ渡るということは絶対にないで、発信することも、基本構想ではなく基本計画の中に、戦略的に発信することも取り組むことがあると面白いと思う。地元の方と来られた方が融合して動いている印象がある。

（事務局）

発信については、常々市長からも「戦略的な広報を」と命をいただいているが、なかなか解決できていないので、重く受け止め基本計画等にもしっかりと明示するような形で進めていく。

外国人の移住については、能動的に受け入れる、能動的に抑えるという部分はしっかりと整理していく必要があると思う。

（委員）

課題の記載について、現状行っている取組でさらに充実が必要なものと、本当に現状できていないがやっていかないといけない課題との色合いを変えて記載する必要があるかと思う。

外国人については、例えば野沢温泉村は外国人の観光客が多く、外国人が観光産業に従事することで交流人口を増加させる役割を果たしている。飯山市ではどこを目指すのか、そこをしっかりと考えていく必要があると思う。野沢温泉村では、入ってくる人には、最初に村のしきたりを伝えている。これだけは守ってほしい、こういうしきたりなので守ってほしいなど話して、納得していただいた上で来てもらっていると聞く。何を行うにしても最初のアプローチは重要であると思うので、ご検討いただきたい。

資料1-1の No. 9で、新たなイノベーションと産業の関係について伺い、既存産業は3番目の項目に、新たに入ってくる人によるイノベーションは1番目と整理しているとの回答をいただいた。ただ、既存の産業を、その枠の中だけで捉えてよいものかと思う。施策に落とし込む段階で、スタートアップ的なものやイノベーションを産業と切り分けるのは疑問に思う。基本計画への落とし込みを進める中で再度ご検討いただきたい。

（事務局）

既存産業のイノベーションについては、この後の基本計画の中で検討させていただく。基本計画を検討する中で、少し基本構想も変える必要がある可能性もあるかと思う。基本構想と基本計画の整合を取りながら進めていきたい。

（委員）

外国人の移住について、私はどちらかというと、来てもらってよいと思う。飯山市で住んでいる外国人と接する中で、地域を調べるときに外国人向けに記載しているものがあると安心感があると聞く。外国人人口の推移を出すかどうか検討するようだが、外国人の方がどんどん来るイメージが現状ではないので、色んな方に来ていただける可能性を感じるようなものを記載できればよいのではないかと思った。

（事務局）

いただいたご意見については、今後進めていくべき課題であると思っており、前段のご指摘の意見も含めて、海外からの移住者に向けた今後の施策は、今は方針として記載しているが、施策の中で明確にしていければと思う。

(委員)

先ほど委員から、子育て支援では飯山市は素晴らしい、発信力が乏しいというご指摘があり、まだまだ改善点があり今後の可能性があると感じた。まだまだ飯山市は輝くかと思った。

飯山市から中野市へ人口が流出していることをつい先日知った。中野市は土地造成を活発に行っているが、不動産への問い合わせの半分以上は飯山市民であることに驚いた。残念に思うとともに、今後に向けたヒントがあるのではないかと考えた。飯山市に移住する人だけでなく、流出する人にもヒアリングというか視点を当てる必要がある。飯山市を里と思う人が減少しているので、そこに視点を当てることも大事なことだと思った。

(委員)

20～30代の人意見を聞いたり、市民アイデア会議に出席して同年代の人の意見を聞きながら、基本構想の作成まで至ってきたと思うが、今の飯山市の良いところを大切に守りながら、人口減少しつつ、飯山市が30年～50年続けていけるような形にしていきたいという思いで基本構想の話を行ってきた。話をしていく中で、全員が飯山市の悪いところもあるけど良いところを熱く語り合う機会があった。自分の住んでいるところの良さを実感している人がたくさんいることや、意見交換できる場があること自体がすごく良いことである。基本構想の基本目標が示されているが、これに至るまで色んな目標があった。例えば、安心して子どもを育てられる地域にしたい、子どもが生きやすい環境にしたい、今ある美しいものを守っていききたい、風通しが良い、若者の意見が言いやすい、言い合える場があると良いなどという思いがあって、ひらかれた「里山」という言葉に至っていると思う。具体的にやるべき施策などはたくさんあり、基本計画で活かされると良いのではと思ってアイデア会議のメンバーと話をしつつ、20～40代の人がこれからの飯山市を背負っていくという覚悟をこの会議に参加して感じることでできた。外国人をどのように迎えるのか、抑えるのか、考えつつ、できるだけ色んな人をひらいた気持ちで迎える体制を作れるような10年間になれば、すごく明るい飯山市になると感じながら会議に参加させていただいている。基本計画の中でもこういうことをやりたい、ということを出していきたいと思う。

(委員)

息子が須坂に勤めていて、去年から中野市へ引越した。勤務するところがなく飯山市からの流出が発生している。老人会の人でも息子が市外に出て1人暮らしの人もある。子どもに対しては優しい施策があると思うが、地元で働く所が無いわけではないが、勤め先が市外であれば、自然に飯山市を出るようになって、引越した先での生活を楽しむようになる。働く場所、企業活動がある活発だと選択肢もあるが、飯山市には工業団地はあるが、中野市へ働きに出る人がいる。地元で働けて根付くような仕事が飯山市にあるとよいと思う。

(伊東会長)

今のご意見に同感である。飯山市は土地が中野市と大差ないが、飯山市では 100 坪必要で、中野市では 70 坪で済むとか、そういった問題がある。住宅の補助金なども市外から移住する人だけでなく、市内の人が住宅を取得する際にも付けてくれれば、飯山市から人が流出しないと思う。飯山市に移住してくる人には手当てが厚く、市民にはないのが問題かと思う。

(委員)

飯山の良いところ、他自治体と比べて電車の定期が安いなど、飯山市に関するよいところを作って PR していくとよいと思う。

(委員)

帰り道に北にいくほど街灯が少なく暗いので、日も落ちるのが早くなっているのに、周りに明かりが無いと怖く、街灯等があると家の人も安心するかと思うので、整備を検討していただきたい。

(事務局)

今後の予定について、今日のご意見を踏まえて基本構想の修正を行い、その後にパブリックコメントとして市民に意見を聴取する。パブリックコメントを約 1 ヶ月半程度の間で実施して、その結果について審議していただく。次回は 11 月下旬で予定しているが、日程の調整を行い連絡させていただく。

(伊東会長)

時間が迫ってきたので、今後の予定について、事務局から説明いただく。

(3) 今後の予定

(事務局)

パブリックコメントの実施を 10 月中旬から 11 月中旬にかけての予定であるが、若干予定がずれるかもしれない。いただいたご意見を踏まえてパブリックコメントを出す案を委員の皆さんに事前に送るのでよろしくお願いしたい。

5 その他

※事務局より事務連絡

6 閉会 (16:30)